

子どもワークショップ（S2-第2回）『子どもにとって大切な権利』について考えてみよう』 意見考察（事務局作成）

- 6つの権利（案）に対して否定や反対する意見はありませんでした。いずれの権利でも「いいねと思った」への投票（シール）が多くありました。
- 「意見を言いたい」では、権利の表現に関する意見3件の他、権利を保障するための具体的な方策に関する質問や、自分たちに合う居場所や、やりたい事を支援する場や機会を求める意見が複数ありました。子どもを対象とした区の施設（場）や支援（サポート）、区の取組内容や状況等を、子ども自身に届くようにわかりやすく伝えていくとともに、子どもたちの意見を聴く場や機会が必要であると感じました。
- 各権利（案）に対する意見考察は下記のとおりです。
意見原文（ワークシートまとめ）は、資料5のとおりです。

①安心して生きる権利いいね31票・意見を言いたい10票

- ・肯定的な意見では、「この権利がないと他の権利も成立しない」、「安心できる場所（環境）は大切」、「愛情と理解を持って生まれた子どもは将来他者に対しても同じように向き合えると思う」等の意見がありました。
- ・一方で「秘密や私的なことが守られます。」に対して、「悪い秘密も守られる？」、「誰かに悪い秘密を話したらこの権利を破ったことになるのか？」、「人に知られたら悲しむ秘密も守られてしまうのか？」等の疑問が複数あり、「誰の、どのような秘密がどのように守られるのか」という点をわかりやすく説明する必要があると感じました。また、「私的なことは誰かに聞いて欲しい場合もあるので全てを秘密にするのではなく、誰に伝えてよいか子ども自身に聞くようにして」という意見がありました。
- ・表現について、「暴力的なことをされない」の追記の提案がありました。
- ・その他には、「愛情はどうやってはかるのか？」、「安心できる場所が減っているのではないか？」、「虐待されている人の事は考えられているのか？」等の懸念や、「必ずしも家族が居場所ではない場合もあり、その場合は別の場所をつくって欲しい」、「相談できる場所を増やす！」といった要望があり、審議会案の考え方や、区の取組状況等についてわかりやすく伝えることが大切だと思いました。

②自分らしく生きる権利いいね24票・意見を言いたい11票

- ・「尊重される」、「ありのまま認められる」という表現に対して肯定的な意見がありました。
- ・一方で自身や友人の事例を挙げて「尊重される」状況を懸念する意見や、「ありのまま、という言葉で放置するのではなく、きちんと向き合って欲しい」、「自分らしくすると否定されそうで、そうられない」という意見があり、子どもたちが自分の思いや意見をきちんと受け止めてもらえたと感じられるような対応が重要だと思いました。
- ・また、「今どのようなサポートがあるのか、これからどうサポートされるかが曖昧」、「沢山のやってみたいことに対してどのように取り組んでくれるのか?」、「どの程度の援助があるのか」という、権利を保障するための具体的な方策に関する質問が複数出ていました。
- ・その他の意見から、「やりたいことに挑戦する機会」、「自分の将来について考える場」、「社会の色々な人に出会う機会」など、自身のやりたい事や意見を応援したりサポートしたりする機会や場が望まれていることがわかりました。

③育つ権利いいね24票・意見を言いたい14票

- ・保障される3点（学ぶ、遊ぶ、ゆっくりと休む）に対して、「子ども時代に経験しておくべきことで大人になるために必要な事」、「人間として生きるために必要」、「どれも大切（バランスも大事）」という肯定的な意見がありました。
- ・一方で、「自宅以外の学生のための自習スペース」や「無料で受けられる塾」（学び）、「中高生の居場所」や「ボール遊びのできる場所」（遊び）、「息抜きのできる安心できる環境」、「自分の好きな事をする時間や場所」（休む）など、それらを保障する場所や環境を整えて欲しいという意見が多く上がっていました。現在、区内にあるそのような場所等の情報を伝えるとともに、子どもたちの思いや意見を聴きながら今後の取組を考えていくことが大切だと思いました。

④意見を聴かれる権利いいね25票・意見を言いたい14票

- ・聞かれた思いや考え、意見が尊重された場合も、されなかった場合も「理由を知る事ができる」ということや、「意見を受け入れるウェルカムな雰囲気がある」という点が肯定的に受け入れられていました。
- ・一方で、「もっと子どもの意見を聴いて欲しい」や「子どもが参加できるワークショップ等を増やして欲しい」など子どもが意見表明できる場や機会を求める意見や、「きょうだい間では上の子が悪く言われることが多いので、両方の意見を聴いて欲しい」や「評価や大人の圧が気になって自由に言えないときがある」などの意見表明に関する懸念を示す意見がありました。区では、引き続き「子どもワークショップ」等の開催や、対象やテーマに合った方法により子どもたちが意見を表明できる場や機会を設けるとともに、安心・安全な環境で自由に意見を言い、その意見を受け止められるよう、聴き方や場の設定について配慮しながら実施することが大切だと思いました。
- その他、意見を表明したくない人や情報収集の方法に関する意見もありました。
- ・「聴かれる」という表現について、別の表現（「聴いてもらえる」等）の方がわかりやすいという意見がありました。

⑤守られる権利いいね 21 票・意見を言いたい 19 票

- ・「いいねと思った」シールの数は他の権利とそれ程変わらないが、その理由についての記述が少なく、保障される内容について具体的なイメージが伝わっていない印象を受けました。
- ・「意見を言いたい」では、「守る」という言葉に対して「実際に守れていないから犯罪が起きている」などできていない場合もあるという指摘や、「助けを求める」ことについて「求められない人達の事はどうするのか?」、「虐待を受けている人の事は考えているのか?」、「助けを求めるハードルがまだ高い」といった点を危惧する意見がありました。このことから権利について意見を聴くときには、権利を保障する具体的な仕組みの説明があるとよいと感じました。（子どもからの意見：「助けを求めることができる」のところに「子どもがいつでも行ける居場所を作る」というポイントもあるとよい）
- ・その他、「ほったらかしにされません」について「どのような事が詳しく知りたい」、「ほったらかしにして欲しい人や事もある」、「そもそもそれ以前の根本的な原因を考えて」等、多くの反応がありましたので、想定している状況や意図を説明する必要があると思いました。

⑥個別の必要に応じて支援を受ける権利いいね 18 票・意見を言いたい 10 票

- ・「いいねと思った」理由では、「それぞれに支援があるのが良い」、「どうにもならないことが認められ、尊重されている」等の意見があり、中でも「差別の禁止」に関する意見が多く出ていました。
- ・一方で「意見を言いたい」では、「差別されないことをどう保障するのか?」、「現に差別を受けている人がいる」、「普段自分のルーツなど気にしていないが、授業などで気にしないように言われると逆に気になる」という意見の他、「子ども自身にそれらのことを教育する機会」や、「自分のバックグラウンドをアイデンティティに変える機会」を求める意見がありました。また、「支援」については、「障害がある人への支援が足りていない」、「その人に合った生き方や学び方を応援・支援してもらえると安心」という意見がありました。
- ・表現については「不利益を受けません。」より、「不利益が起こる事がないようにします。」の方が良いという意見がありました。